

広報

2017

つちうら ③

Tsuchiura Public Relations

No.1190

特集 つちうらの桜

つちうらの

桜



桜は古くから多くの人に愛されており、土浦でも市の花に制定されています。また市内には桜の名所が数多くあります。

加と桜

桜川堤には、霞ヶ浦の河口付近から虫掛方面まで、約500本の桜が植えられています。河川敷の菜の花との競演の中、のんびりと散策を楽しめます。新川堤は幅の狭い川の両岸に植えられている約100本のソメイヨシノが満開になると、枝が水面に覆いかぶさり、みごとな桜のトンネルになります。水面にも桜が映りこみとてもきれいです。

公園と桜

市民の憩いの場として親しまれている亀城公園は、堀に囲まれた城の姿が、水に浮かぶ亀に見えたことから「亀城」の愛称がついたといわれています。櫓門は、城郭建築の遺構としては関東地方唯一のもので、公園の象徴になっています。園内には約70本のソメイヨシノがあり、櫓や堀との調和はみごとです。乙戸沼公園には、ソメイヨシノやヤエザクラが約900本植えられています。





竜ヶ峰



旧制土浦中学校本館(土浦一高)



桜川



乙戸沼公園



りんりんロード



穴塚大池



中貫公園



真鍋小学校



真鍋小学校(ライトアップ)



霞ヶ浦総合公園

◆学校と桜

真鍋小学校の校庭の中央には、明治40年に校舎新築記念で植えられたソメイヨシノの巨木が5本あり、昭和32年に県の天然記念物に指定されました。樹齢約110年を誇る美しい花の下で上級生が新1年生を出迎える「お花見集会」では、上級生が1年生をおん

ます。お花見の時期には、大勢のお花見客や遊具で遊ぶ子どもたち、出店などでにぎわっています。市内の公園には多くの桜が植えられており霞ヶ浦総合公園や神立公園、中貫公園もお花見のスポットです。



ぶして桜の木の下を歩く、ほほえましい光景を見ることが出来ます。土浦第一高等学校の敷地内には、明治37(1904)年に建てられたゴシック様式の旧制土浦中学校本館が残されています。国指定重要文化財に指定されている建物とシダレザクラが重なり、明治・大正ロマンが漂います。土浦第三高等学校前の坂はみごとな桜のトンネルとなります。

ほかに竜ヶ峰やりんりんロード、穴塚大池など桜の見所がたくさんあります。この春は市内の桜をめぐってみたいかがでしょうか。